

# エルム

エルム第22号

発行/特定医療法人  
北楡会 札幌北楡病院

編集/広報委員会

責任者/久木田 和 丘

発行/平成16年7月15日

病院機能評価認定病院の認定が更新されました。

当院が質の高い医療サービスを実現させるためには、自分の病院の機能を正確に知ることが必要です。そのためには、第三者に病院を評価してもらい、その結果をもとに、医療の質の向上を図ることが大切です。

財団法人日本医療機能評価機構は、公正な立場で病院の理念や地域での役割、診療の安全管理など、さまざまな項目について評価を行っています。これが「病院機能評価」です。これらの評価が一定水準に達していると判断された病院には、認定証が交付されます。

この度当院が受審したのは、1998年10月に一般B(地域が必要とする各領域の医療において基幹的・中心的な役割をにない、高度医療にも対応しうる一定の規模を有する病院)という区分で、道内で4番目に認定を受けました。このたび更新の時期となり書面審査と、厳しい訪問審査を受け新評価体系での認定を受けました。

当院では当初から「公正な医療・分かりやすい医療・安全で快適な環境を提供し、高度医療の推進を図り、患者さんの権利を尊重する病院」を基本姿勢としており、今

後も医療の質向上を目指して職員一同、よりいっそうの充実に努めてまいりたいと考えております。

## 第11回日本血液代替物学会年次大会 第4回日本統合医療学会が開かれる。

これらの学会は当病院の川村明夫理事長が大会長を務め、当院がお世話しました。

血液は、体中に酸素や栄養分を運ぶなどさまざまな役割をもっています。血液の大切な働きを血液以外で代用できれば、緊急時でも安心です。このような研究成果の発表をする第11回日本血液代替物学会年次大会が北方圏センター(中央区北3西7道庁別館)で7月13日～14日に開催されました。また東洋の智慧と西洋の科学を融合し、第三の医学を確立し、一人ひとりの体質や個性に合った医療を目指すのが、日本統合医療学会です。第4回の本会は「21世紀の統合医療—西洋医学と代替・補完・伝統医療の新たな共存の道—」をテーマに北海道大学学術交流会館(北区北8西5)において、7月31日～8月1日に開催されました。また第6回日本代替・補完・伝統医療連合会議、北海道支部会、合同学会が同時に開催されました。

### 札幌北楡病院基本方針

- 1：患者さんに公正な医療を提供します。
- 2：患者さんの権利を尊重し、分かりやすい医療を行います。
- 3：患者さんの安全を保障し、快適で安心して治療に専念できる場を提供します。
- 4：高度医療を積極的に推し進めます。

### 放射線の発見と使われ方

今から約110年前、ドイツのレントゲン博士が真空管の実験をしていました。偶然近くに置いてあったフィルムが黒くなり、目に見えない何かが出ている事からX線と名前を付けました。それから現在まで人類は研究を重ね、様々な事で放射線を利用してきました。



W・レントゲン博士

中でも放射線が物質を透過する力が強いことを利用して身体の内見を見ることは発見の当初から研究され、近年では電子技術の発展と連携してめざましく進歩しています。皆様もレントゲン写真、バリウム透視検査、CT検査という呼び名でおなじみのことと思います。

そして医療だけではなく私達の気が付かない所でも、たとえば身体検査に使うよりもっと強力な放射線で飛行機や船に亀裂がないか調べたり、ジャガイモを長期に保存するため芽が出ないようにしたり、害虫の駆除に使ったり様々な事に利用されています。

### 放射線の身体への影響

X線の発見当時、研究者の身体が徐々に不調になっていきました。長い間、どうして身体が不調になるのかわかりませんでした。広島長崎の原爆投下や、原子力発電所の事故、各国の核実験など、その都度被ばくする人が出て大きな問題になります。しかし逆にこのことで、どれくらいの量の放射線がどのような影響を及ぼすのかわかってきたり、どうしてからだの不調になるのか、だんだん原因が解明されたりしてきました。

私達の身体は細胞の集まりで出来ています。その細胞は身体場所や臓器によって働きや性質が違います。それぞれの目的のため活発に分裂してどんどん増えていく物もあれば、長い間働き

続けるだけの細胞もあります。

すべての細胞には大切な個人個人の情報が入っています。一人の身体ではどの細胞にも全部同じ記録がされています。それはDNAと呼ばれています。DNAは2本のひもが絡んだような形をして細胞の中に入りますが、放射線がたまたまこのDNAのひもの部分を通ると、ひもは切れてしまいます。するとその細胞は情報が壊れて死んでしまいます。研究の結果、若い細胞ほど壊れやすいという事がわかっています。活発に分裂を繰り返す若い細胞の多い臓器ほど放射線の影響を受けやすいというわけです。

### なぜ癌の治療に放射線をつかうのか。

癌は身体のある組織の細胞が必要のない状態で増えるものです。私達が生まれたときから、あったものではなく、多くは病院を受診する数年以内に増えはじめたものです。

だから癌には活発に細胞分裂を繰り返す若い細胞が多いのです。ここに放射線を当てると、他の正常組織の細胞が壊れる前に、若い細胞が多い癌細胞が先に死滅します。

これを利用して、病気を治そうというのが放射線治療の考え方です。いまでは正常細胞への放射線の影響をどれだけ少なくできるのかも考えるようになってきました。

### どんな種類の癌にも使えない理由

病気の元になる細胞のすぐ横には正常組織の細胞もあります。その中には病気の細胞と一緒に壊れてしまう物もあります。これが副作用です。とても大切な細胞が近くにあるとその細胞は壊れて欲しくない時もあります。癌になった部分の周辺が、神経細胞や筋肉細胞のように放射線に強い細胞だと、癌細胞だけが壊れてとても治療がしやすくなります。その逆だと、癌細胞が壊れるときに周辺の正常組織の細胞も障害を受けてしまいます。このように放射線治療は癌の種類だけでなく、癌の出来た場所によっても適応や効果の度合いが変わってきます。どの治療方法にしたら一番いいのかを考えて治療方針を決

めていきます。

放射線治療の装置があるということは、それだけ病気を治療する手段、選択肢が増えて、よりよい医療を提供できるということになります。

### 放射線治療装置とは

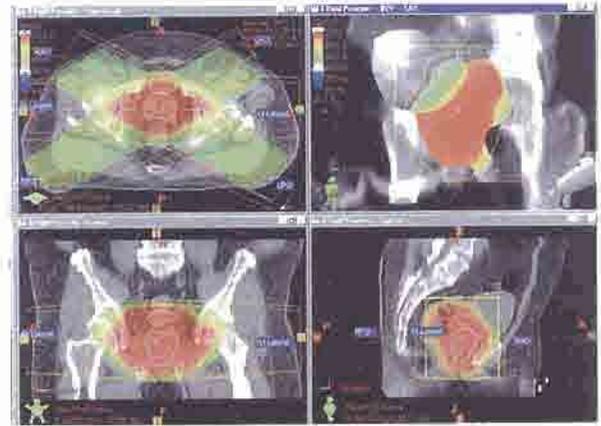
放射線治療を行うときは「いかにたくさんの放射線を癌細胞に当てられるか、そしていかに正常細胞に放射線を当てないで済むのか」を考えることがとても大切です。この目的のため放射線のエネルギーや種類を変え、放射線を当てる方向も変え、複雑に入り組んだ病気の部分に当てていきます。今では専用の治療計画用コンピュータがあり、検査に使ったCT検査写真やX線写真を中心に、入り組んだ複雑な照射も可能になりました。

装置の原理は基本的にはレントゲン写真を撮る機械とは同じです。しかしお話したように、それぞれの病気に対応して効果的な治療が出来るように色々な種類の放射線を出したり、毎日安定して治療を続ける事が出来る精密な機能や能力が必要です。写真を撮るときとは比べ物にならないくらいエネルギーも必要なのです。装置が故障しないで安定していることも必要です。これらの条件を満たすため、装置はとても高額なものになっていて、残念ながら道内でも限られた施設でしか使用されていません。

### 札幌北楡病院の取り組み

当院では16年前の昭和63年から放射線治療装置を導入して治療に生かしてきました。特に骨髄移植前の全身照射では国内でもトップクラスの件数を施行してきました。

導入当時から比べ、医療の中における放射線



治療への要求が変わってきました。より細かい部分への複雑な治療や、治療手段を増やすことなども必要になってきました。

この度、当院はこれらの新しい放射線治療に対応できる装置へ更新をすることにいたしました。実は他の先進諸国に比べ日本の放射線治療件数はとても少なくなっています。特殊な治療方法なのでではなく、先進医療では普通に使われている治療方法といえます。

担当の医師から病気の治療方法で説明があったときは安心して治療を受けて下さい。

### 誤照射、過剰照射の医療事故

北陸地方の大学病院や、東北地方の施設などで長年にわたって治療に使用する放射線の量を間違えていたという事が報道されました。これらの事故報告書を読みますと、コンピュータを制御するはずの人間がコンピュータに振り回されてしまった様子が見取れます。コンピュータが間違えて出した計算結果をそのまま信じてしまったのです。

当院では放射線治療を導入した当初から専用の道標を使って患者さんに照射するときと同じ状態を再現し放射線をあて、その中に放射線量を測定する機械を入れる方法で確認してきました。

この方法は北陸地方の大学病院で過剰照射事故の再発を防ぐためにはじめた方法と全く同じです。自分の目で確かめて、必ず検証出来る方法で再確認をする。

手間がかかるようですがこれが誤照射、過剰照射などが発生しない確実な方法だと思っています。

放射線科部長 久木田 和臣





# ひとくち 栄養メモ ~ご存知ですか?~

## 身近な野菜たち ⑩ ☆南瓜☆

メキシコ産などの輸入物も増え、1年中お目にかかりますが旬は「夏」  
 また1個まるまるなら半年は保存が出来るので、「冬至に南瓜を食べると風邪をひかない」といわれるほど、冬のビタミン源として利用されています。

### ◎注目の栄養価◎

#### ビタミンC

・ビタミンCは加熱に弱いですが、南瓜の場合豊富に含まれるデンプンがビタミンCを包んでいるので加熱しても壊れにくい

カボチャには食物繊維も多く含まれているよ。  
 特に皮の部分に多いので、皮ごと食べてね。コロッケやスープも皮付きで調理して!  
 また、皮には実の3倍ものβ-カロテンがあるよ!



#### ビタミンE

・若返りのビタミンとして、動脈硬化の予防や冷え性に効果的

#### ビタミンA (β-カロテン)

・がんや老化防止の原因となる活性酸素から体を守ってくれる

※参考 講談社 今日のおかず何にする 栄養課

### 外来診察担当一覧

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
内科	小笠原 豊 原 島	木 山 小林 池	笠 井 今 井 木 山	杉 田 小林 幸	小林 順 米 積	笠 井 賀 川	小林 順	米 積	笠 井 木 山 小林 池 賀 川	今 井 杉 田	松 野 交 代
消化器科	斉 藤	吉 川	大 泉	斉 藤	斉 藤	川 村	斉 藤 藤 口	大 泉	川 村	露 口	
呼吸器科	本 田		本 田		本 田		本 田		本 田		
循環器科	山 田				横 山		舟 山				
外科	川 村	日 黒	米 川	久 木 田	日 黒 堀 江	水 交 戸 代	長 置	堀 江 津 田 隔週交代	久 木 田	玉 置	水 交 戸 代
整形外科	東 高 橋		東		武 高 山 橋		東		高 橋		
小児科	小林 順 安 田		安 田	越 後 谷		安 田	小林 順 安 田		小林 順 安 田		安 田
眼科	-		-		-	○	-	○	-	○	-
歯科	佐 伯		佐 伯		佐 伯	-	佐 伯		佐 伯		佐 伯
スリープ外来	-		中 尾	-	-		中 尾	-	-		-

※○印：北海道大学医学部からの派遣医が担当いたします

※ペインクリニックは予約制

# 休憩室

「おはようございます」。文字にすると何でも無い単語だが、声を出して100人の人と「おはようございます」の言葉を交わせば100通りの挨拶に変化する。話し方は感情や心を込めやすい素晴らしい伝達手段だ。しかしお互いの環境が違くと、とんでもない誤解を招くこともある。

冬の挨拶で「今日はしぼれるね」はあまりにも有名な北海道の方言なので本州の人にも理解してもらえる。しかし、冷凍庫から出した物に「しぼれているね」の使い方はあまり通用しない。物をなげる(捨てる)。からだがかわい(疲れた)。あずましくない(気持ちが悪くない) などなど。このあたりになると「えっ」と聞き返される。それこそ何を言っているのか、はんかくさい人を見るような目で見られる。育った地方が異なると通じない。

診察後、検査の日時を決めるため、職員の人とお話をした。予定は無いので「いつでも良いです。」という検査担当者に「〇〇日でよろしかったですか。」と言われた。私も思わず「よろしかったです」と応えてしまった。この頃の若い方々の使い方だ。会話の目的が検査日時を決めることにあるので、この場合は話し方や言葉の使いに違和感を覚えても結論に変化はない。

「先ほど〇〇先生がおっしゃっていた検査の口ですが、13番の部屋で伺ってください。」真顔でそう言われると不思議と疑問もわからない。

文字にすると明らかに間違った使い方でも、その場の雰囲気や話し方、態度などで間違いが薄れる。

そう言えば以前、年齢に関係なく私がお願いするのだから丁寧な言葉を使うように努めていたら、影で「慥慥無礼な人だ」と言われたことがある。同じ言葉を使っても話す相手との年齢の差があると正しく伝わらない場

合があるということだ。

看護師さんに「サイケツしますね」と注射器を向けられた。「サイケツは採血なのか」と思う間もなくチクッときた。「検査のため血を採ります」では良くないのだろうか。「オショウスイ」はお小水で、尿のことだが、今では病院以外ではまず使わない。

医師の診察を受ける。「ケツウチが少々高いですね。」とか「エコーの結果ですけどシボウカン気味です」ケツウチは「血糖値」でそれが高いと言うことは何を意味しているのだろうか。シボウカンは「死亡肝!？」あつ「脂肪肝」か。肝臓の機能を表すGOT、GPTって何なのだ。そんなことを思っている間にどんどん話が進んでいく。一生懸命説明していただいたのだが、診察室を出るときは「で、いったい私は一言で正常なの異常なの?どうなっているの?」と思う。診察の時、折角も解けて症状を聞いていただけと思ったのに、その様なつもりが無くても言葉の使い方と私達と医師側の世界との間に線を引かれた気がしてしまう。

「今日はお疲れさまでした。ご気分はいかがですか。〇〇医師のご説明や検査の結果などで分からないことがありましたら、いつでもお尋ね下さい。」その言葉が笑顔と共に私に向けられた瞬間、病気が一瞬に治った気がした。話し方は感情や心を込めやすい素晴らしい伝達手段なのだが、互いの相手の立場を考えながら使えばより一層、使った言葉以上に相手に伝わるものがあるのだと思ったのだった。

敏克



# 療養情報センターニュース

今回は、療養情報センターでお会いしています医療ソーシャルワーカーについて、成り立ちや当院の実際の業務内容を紹介いたします。

## ＜医療ソーシャルワーカーの仕事は＞

病気はある日突然になります。病気になった本人はもとより、その家族にとっても思いがけない出来事でしょう。常日頃考え、準備していても様々な不安や疑問が生まれます。

「あの…」

『はい、どのようなご心配ごとですか？』

こんな会話から患者さんと私たちの関係は始まります。

英語ではメディカルソーシャルワーカーと言います。その各単語の文字をとって「MSW」であらわします。患者さんやご家族の方が安心して治療を受け、心身の障害や病気によるさまざまな不安のために、生活を営むことが困難にならないように、社会福祉の立場から援助をします。また、患者さんの中には、病気になったという身体の変化に、心も変化してしまう場合もあります。このような患者さんに対し適切な医療ができるよう受診・受療の援助を行うのも医療ソーシャルワーカーの重要な仕事です。

医療ソーシャルワーカーは、病院や保健所などの各種の保健医療施設などにいます。こうした問題について患者さんからの相談にのり、安心して療養に専念し一日も早く社会復帰ができるように、患者さんと一緒に考え、適切な助言や援助をする専門家なのです。

「実は……、お聞きしたい事があって……。」

『なんでも遠慮なくどうぞ。私たちは「聴く」ことのプロですから！』

ソーシャルワーカーは、社会福祉の立場から、医療費・生活費・社会復帰・福祉制度や介護保険制度・心理的な悩み等に関する

不安に対して、みなさんと一緒に考え、解決のお手伝いをしています。

## ＜当院の医療ソーシャルワーカー＞

当院では、主に入院される方への案内や相談業務にあたっています。

医療ソーシャルワーカーが実際に行っている相談業務内容を平成16年1月から4月まで集計し表にまとめてみました。

	1月	2月	3月	4月
相談件数	396	310	437	403
1日平均数	20.9	17.0	19.0	19.0
入院相談	193	192	266	250
外来相談	200	124	165	150
療養上の相談	90	50	79	77
経済的問題	203	168	231	149
福祉サービス	51	46	52	76
も同調整	27	16	19	34

(単位：件)

1日当りの平均相談件数は約19件となっています。

もっとも多いご相談は、やはり医療費や年金等の経済的問題が挙げられます。お話をよく伺い、各種の医療費助成などから適したものをご説明し、受給可能な社会的制度のご紹介や手続きのお手伝いをしています。

他に入院が決まった段階で、病院の設備や入院中のご案内、入院中は療養中の職場の問題、また退院した後の在宅生活へ戻ることに對するご相談などがあります。

## ＜北楡病院では、ここにいます。＞

病院は環状通りに面して、受付のある建物

を東棟と呼んでいます。

東棟正面玄関にあるエレベーター又は階段で2階に上がった所に療養情報センターの表示があります。私達はそこでお待ちしています。

医療技術のますますの発展、ライフスタイルの変化等によって、従来にも増してより複雑な社会が予測され、それに伴い相談内容も複雑化していくことでしょう。その中で、社会的な視点から、福祉サービスを必要とする方の要求に応え、一人ひとりに合った解決方法を考えます。家族や地域と連絡・環境調整を行ない、社会制度の活用等、患者さんや家族の方々と一緒に考えていきたいと思っています。どうぞ私達MSW（医療ソーシャルケースワーカー）をご活用下さいますようお願いいたします。

療養情報センター 村岡

## メディカルパートナー紹介

6病棟メディカルパートナーの佐々木純子(ささきじゅんこ)です。6病棟には、外科・消化器科・内科の患者さんが多く入院されています。外科の患者さんでは、腎臓移植後の治療や・睡眠時無呼吸症候群の検査のための入院なども行っております。医療に携わっていきたくこの道を進路に選びましたが、学生の特に考えていたように皆様のご質問や意見にすぐ反応出来ないこともあります。まだまだ至らない点がありますが、どうぞ宜しくお願いします。何か質問などありましたら時間がかかっても必ずお答えしますのでお気軽に声をかけて下さい。



## 委員会のご紹介

札幌北楡病院では、様々の委員会を設け、安全でよりよい医療をご提供出来るよう努めています。この中から今回は放射線障害予防安全委員会の取り組みをご紹介します。

### 放射線障害予防安全委員会

札幌北楡病院内における放射線発生装置の使用及び取り扱いに規制を設けます。そしてこれによりすべての放射線障害を防止し、周辺住民の方々、患者さん、及び職員の安全を確保することを目的に組織されました。

医療で使う放射線のほとんどは電力で発生させます。したがって、電気を切ることで放射線の発生を止められます。放射性同位元素を使う検査も数日間ですべて消滅してしまう、とてもわずかな量です。原子力発電所などで使用する様な高レベル放射性同位元素を使用することはありません。いつまでも放射能が出るようなことはありません。

一般的に胸の写真撮影で使用する放射線の量は、装置の進歩や、デジタル技術の導入で少ない放射線で画像を撮像できるようになりました。今では胸の写真は宇宙から降り注ぐ自然放射線の約1/10以下の量で撮影できます。ハワイまで飛行機で旅行したときに上空で浴びる放射線の量よりずっと少ないのです。

しかし量の多少にかかわらず放射線を発生させます。少ないから考えなくて良い・・・のではなく、量の多少にかかわらずきちんと管理し、その使用の方法を相互チェックできる組織を作っておくことが必要だということでこの委員会が作られました。放射線科 濱田

# お答えします

**Q** 朝早く来たのですが、西棟玄関が閉まっていた。開錠時間が変わったのですか。

**A** 朝の西棟1階は人が不在なことから、防犯と患者さんの安全のため朝は『午前7時30分』（東棟午前7時）に開錠することといたしました。なお、入院患者さんへの面会時間が午後9時までですので、病院の玄関は午後9時に閉錠いたします。午後9時以降は、東棟1階の救急患者入口（守衛室横）のみが出入り口となります。この救急患者入口も深夜1時から午前5時までには閉錠し、その都度守衛が対応いたしますのでご協力をお願いいたします。

**Q** 東棟駐車場の工事はいつまで続きますか

**A** 新しい放射線治療装置の搬入口を作っています。搬出入が終わりましたら蓋をして、駐車できるようになります。8月末には終了します。

当院では診療情報の開示、提供を行っています。職員までお尋ね下さい。

1ページでご紹介いたしましたように病院機能評価機構から認定証が交付されました。



編集後記：昨年と違って太陽も出てまた雨も適当に降り、今年は農作物の生育が順調のようです。冬は寒くてそして夏は暑く、これが地球上の生き物には良いのかも知れませんが、そう思うと私達も夏の暑さを楽しまなくてはいけないのだと思います。といつつ「暑い、暑い」と言葉が出ます。いつものお願いで恐縮ですが、ご意見ご希望をお待ちしています。エルムは季節毎の発行です。

紙谷・濱田



## 特定医療法人北楡会 札幌北楡病院

診療科目：外科・内科・消化器科・呼吸器科・循環器科・小児科・整形外科・眼科・麻酔科・放射線科・歯科

住 所：札幌市白石区東札幌6条6丁目5番1号  
TEL：011(865)9111・FAX：011(865)9634

交 通：地下鉄白石駅5番出口から  
環状通り北へ徒歩5分

ホームページ：http://www.hokuya-aeth.org